

# なかとんべつ 町議会だより

Volume

# 211

令和2年7月22日発行

特別定額給付金事業（1億7千757万9千円）を含む  
新型コロナウイルス感染症対策に総額2億4千217万6千円！



こども園畑づくり

|                  |    |
|------------------|----|
| 第2回定例会議決内容 ..... | 3  |
| 私たちの一般質問 .....   | 4  |
| 主な質疑及び答弁 .....   | 7  |
| 報告事項、議会だより ..... | 9  |
| 議会の動き・編集後記 ..... | 10 |

## 第2回定例会



令和2年第2回定例会が、6月10日から3日間の会期で開催され、冒頭の行政報告で小林町長から2点報告がありました。

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策の報告について

道が独自の緊急事態宣言を発令した2月28日に本町は「新型コロナウイルス感染症中頓別町対策本部」を設置し、以降本町の取り組みを推進してきました。緊急事態宣言が全面解除となるまでの間、計画に基づき現状分析や課題の明確化等についての協議を行い、全庁体制で対策に取り組んできました。6月1日をもってこれまで道が実施してきた休業要請などの措置はすべて解除されました。今後におきましては、「新しい生活様式」や「新北海道スタイル」安心宣言の実践などによる感染防止対策を継続します。

### 2. 防災行政無線の戸別受信機の配付の遅延について

新型コロナウイルス感染症対策を受けまして一時延期としております。北海道の緊急事態宣言の解除を受けて、6月より戸別配布を再開し7月中には配付を完了したいと考えています。

なお、町職員には既に3月中に配付を行っており、受信状況の確認や電池での持続時間などの調査を終えています。



4月から運用開始した防災行政無線

教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

### 1. 小学校・中学校の新型コロナウイルス感染症への対応に係る臨時休業（休校）と学校再開について

小学校・中学校は、4月20日から5月29日まで、一斉臨時休業となりました。休業期間の長期化に伴い、児童生徒の心身の健康状態や学習状況の把握を行うため感染防止の徹底を図りながら、分散登校日を6回設定して午前中に授業を行いました。

6月1日から、こまめな手洗い、咳エチケット、換気、「三つの密」を回避する身体的距離の確保など、新しい生活様式の定着を図りながら、毎朝の検温と体調の確認、マスクの着用しながら授業を行っています。

一般質問では、通告順に5議員が質問を行いました。

報告では、平成31年度一般会計予算を令和2年度に繰り越して使う「繰越明許費繰越計算書」のほか、町が資本金を出資している「有限会社中頓別振興公社」の平成31年度経営状況が報告されました。

町長から提案された、町税条例等の一部改正（2件）、国民健康保険税条例の一部改正、一般会計補正予算（2件）に伴う専決処分の承認5件と、中頓別町農業委員会委員の選任の同意7件、条例改正及び補正予算を含む8議案を原案可決し、会期を1日残して11日に閉会しました。



# 第2回定例会で 決まりました



## 議決内容

○同意第2号から同意第8号 中頓別町農業委員会委員の選任の同意

石井進氏、石橋美代子氏、西一彦氏、石黒和浩氏、藤田健一氏、佐藤秀樹氏、森川健一氏

農業委員会等に関する法律により、全ての委員が議会の同意が必要となったことによる選任の同意。

○承認第1号 専決処分の承認（国民健康保険条例の一部改正 3月31日専決）

地方税法施行令の改正による、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減となる所得の範囲の改正。

○承認第2号 専決処分の承認（税条例等の一部改正 3月31日専決）

地方税法等の改正による、住民税関係及び固定資産税関係の特例規定の整備に係る改正。

○承認第3号 専決処分の承認（税条例の一部改正 4月30日専決）

地方税法等の改正による、徴収猶予制度の特例関係の整備に係る改正、固定資産税関係の特例規定の整備に係る改正、軽自動車税関係の環境性能に応じた軽減等特例の延長に係る改正。

○承認第4号 専決処分の承認（一般会計補正予算 5月1日専決）

歳入歳出に1億9千343万7千円を

追加し、総額を38億1千609万7千円に。主に特別定額給付金など新型コロナウイルス対策に係る事業に追加するもの。

○承認第5号 専決処分の承認（一般会計補正予算 5月14日専決）

歳入歳出に216万8千円を追加し、総額を38億1千826万5千円に。主に新型コロナウイルス対策に係る事業に追加するもの。

○議案第31号 後期高齢者医療に関する条例（一部改正）

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、感染した被用者に対する傷病手当金の支給に係る申請受付事務を追加するための改正。

○議案第32号 国民健康保険条例（一部改正）

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年1月1日から規則で定める9月30日までの期間における傷病に係る傷病手当について改正。

○議案第33号 酪農振興支援条例（一部改正）

後継者が経営継承した際の優遇措置の追加等助成金の交付規定を設けることにより、酪農業の振興を図るための改正。

○議案第34号 商工業振興支援条例（一部改正）

助成対象者に、新たに町内で商工業を営もうとする者を追加するほか、後継者が経営継承した際の優遇措置の追加等助成金の交付規定を設けることにより、商工業の振興を図るための改正。

○議案第35号 中小企業振興資金融資条例（一部改正）

新型コロナウイルス感染症などの影響により、緊急の融資が必要な中小企業に対して速やかに融資等できるための改正。

○議案第36号 企業立地促進条例（一部改正）

地域経済の発展と雇用機会の拡大を図ることを目的としており、他の制度との整合性や趣旨を踏まえ、工場等を新設する場合のみを本条例の対象とするための改正。

○議案第37号 一般会計補正予算

歳入歳出に36万5千円を減額し、総額は38億1千790万円に。

○議案第38号 国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予算額を5億7千555万7千円に、資本的収支既決予算額を2千377万6千円に。

※○は原案可決

# ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

高齢者の生活支援施策の充実について

本町においても、今やごみを出すことが難しくなってきたという高齢者世帯が増えているが、このような、ごみ出しが困難な高齢者等への生活支援の一つとして、本町において、「戸別ごみ出し収集支援制度」を作り戸別にごみを収集する取り組みが出来ないのか町長に伺います。

答 弁 ○小林町長

高齢者のごみ出し支援は、高齢者世帯からのごみ収集を確実にするだけでなく、高齢者の生活の質の向上や見守り支援にも繋がる取り組みと認識しています。このように日常生活に支援が必要な高齢者は、介護保険制度のホームヘルパー（訪問介護）生活援助を依頼し、生活援助の一環としてごみ出しをお願い

高橋憲一 議員



質問

地域包括ケアシステムプロジェクトの経過報告について

することも可能です。今年度は介護、老人保健福祉計画及び介護保険事業計画の改訂の年でありますので、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、ごみ収集における現状やニーズを把握し、高齢化社会におけるごみ出しに関する支援について、新たな仕組みの可能性を検討していきたいと考えます。

先に一般社団法人北海道総合研究調査会から町が取り組んでいる「地域包括ケアシステムプロジェクト」調査研究報告の中で中頓別町立国保病院の目指す姿が示されたところで

すが、その中では令和3年度以降では病床の削減による国保病院もしくは有床の診療所、その後、令和10年をめどに診療所と介護療養

院の併設という姿を想定していますが、町としてはこの姿を基本に進めていくということとで理解してよいですか。

答 弁 ○小林町長

国保病院のあり方について、今後、議会や町民の皆さんと議論を重ねながらしっかり時間をかけて決めてゆくというのが基本の考え方です。

調査報告書は議論のベースにはしたいと思っていますが、この方向で固めた訳ではありません。将来的な人口減少を見据えると病床の削減は避けたいところではありますが、病床の見直しで終わるのではなく、医療を核に介護、福祉、保健予防を一体的に見直し、全体としては今よりも住民ニーズに応えられるバージョンアップした地域包括ケアの仕組みを構築したいと考えています。

宮崎泰宗 議員



## 質問

## 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスの影響等については、3月定例会でも確認させていただいたが、感染拡大の状況はその後さらに悪化し、北海道のみならず国が緊急事態宣言を発動する事態にまで発展した。このような状況から道内や管内においても予定されていたイベントなどの中止が相次ぎ、中頓別町でも中止などの措置が検討されているが、国内、道内でも感染は続いており行政主催の行事等も含め町全体で判断していく必要があるのではないかと。

役場内等で実施している時差出勤や感染防止対策、病院での面会禁止などはいっままで続けていくのか。

町内で感染が疑われるような事例も町民の間では話題になっており、不安の声も多いようですが、これまでに実際そのような問い合わせなどはあったのか。

初動の遅れや行動自粛の緩みなどから、現在も再拡大の兆しが各地で見受けられ、このような状況が何年も続くとしたら将来的には交付税の大幅な減額や住民負担の増加など、影響は計り知れない。暮らしの支援や財政状況の見直しなど、このコロナ禍に対し、町

行政として、どのように向き合っていくとお考えか。

各地で問題が起きている一人10万円の特別定額給付金の状況など、これまでの対応や今後の取り組みについても伺う。

## 答 弁 ○小林町長

町として例年町内で開催されているイベント等に対し自粛要請などは行っていないが、行政主催の行事等については、一つひとつ検討し、開催の可否を決定している。今年は主催者の英断により北緯45度夏まつりなど、祭事の中止などを決定していただいている。

役場内での緊急事態措置としての時差出勤の対応は5月28日をもって解除したが、感染予防対策は「新北海道スタイル」安心宣言として継続して実践していく。病院での面会制限は、医療機能の維持の重要性から北海道の感染の状況を見ながら当面の間継続していく予定である。

新型コロナウイルス感染症に関する相談は保健所内にある「帰国者・接触者センター」において受けているが、町民から保健福祉課や中頓別町国保病院においても新型コロナウイルス感染症に関する心配や受診の相談を受けており、適時必要な行動等についての支援を行っている。

今回の対策における国の財政出動に

伴い、将来的な地方交付税にどのような影響を与えるかわからないが少なくとも今年度の町予算の執行について大きな支障を来す可能性は低いと考えている。問題は来年度以降、人件費抑制などの可能性も含めて今後の状況を踏まえた上での適切な予算編成等に努めていきたい。

特別定額給付金については、6月8日時点で96%を超える申請が行われており、今のところは辞退者もなく、あと40世帯ほどの確認を残すのみとなっている。問い合わせは十数件受けているがオンライン申請も含めて特に大きな混乱や問題などは起こっていない。

## 星川 三喜男 議員



## 質問

## 今後来るかもしれない新型コロナウイルス感染症対策について

全国の自治体の中では、特別職及び議会議員の給料、報酬を削減し、新型コロナウイルス感染症対策支援の財源に充てているところもあります。

そこで、新型コロナウイルス感染症対策の一般財源も増えていることから、今定例会に議員の6月期末手当を削減する条例案を提案して、新型コロナウイルス対策支援の財源として活用することを考えていますが、特別職についても同様の考えはないか伺います。

## 答 弁 ○小林町長

現時点では、特別職給与を削減することは考えていません。今定例会で提案させていただいている補正予算までは留保している財源の範囲で編成ができており、少なくとも今年度に関しては不測の事態がない限りは、財政運営に支障をきたすことがないと考えています。

今後については、新型コロナウイルス感染症に必要な対策の状況や今後予定されている議員提出議案に関する議論や町民のご意見などを踏まえて、その必要性の有無を判断していきたいと思えます。



## 質問

これから一年間の児童生徒の学校  
内容について

これからの児童及び生徒の一年間の学習、行事などの確保が大変な状況になると思うが、今後どのような内容で進んでいくのか。

今現在で考えられている方向性を教育長に伺います。

## 答 弁 ○田邊教育長

教育課程は、各学校が学校の実態に応じて編成するものです。

中頓別小学校・中学校ともに長期休業（夏休み・冬休み）の短縮や土曜授業等を実施して、臨時休業中の授業時間の補填に充てます。

学習指導要領に示された各教科の内容をすべての児童生徒に身に付けさせるとともに、今後新たに必要となる授業時数を明らかにした上で、標準授業時数を確保することとしています。なお、長期休業中であっても給食は提供します。

学校行事は、運動会や学芸会・学校祭は規模を縮小して実施、修学旅行や宿泊研修は受け入れ先や見学地の状況によりですが、日程や行先の変更も含めて検討して実施したいと考えています。

## 東海林 繁 幸 議員



## 質問

ドリームジャンボファーム等企业  
立地促進事業の現状について

ドリームジャンボファーム、貝化石の商品化、それぞれ期待される事業でありそれぞれ1億円の助成をしてきました。

これまで心配する様子がありました。現在の状況をお知らせください。

## 答 弁 ○小林町長

31年度事業であるドリームジャンボファームは雇用者の確保が課題でありましたが、5月時点で6名の雇用者の確保と月平均の出荷量が122tで計画を上回る状況である。

30年度事業である株式会社KUWA HARAの貝化石肥料、飼料化について

て、製品の販売状況は大きな実績はないが、今年に入りまとまった取引もあり、大学との連携した新製品の展開も継続されると聞いている。

経営の改善が図られると思う。

## 質問

## 消防支署職員の任命について

特別地方公共団体に位置付けされている南宗谷消防組合の基にある中頓別支署職員の任命が一部事務組合と町の任命とばらばらである。何故こうなったのか、すぐにでも改正できるものであるが、どう思いますか。

## 答 弁 ○小林町長

町採用の職員と一部事務組合採用の職員がいる、町との人事交流のしやすさからの考えであるが、一部事務組合の法令の主旨から本町だけの状況であり今後構成3町で検討するほか、今後の採用については是正したく考えます。

質疑・質問は  
要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



町採用職員と一部事務組合採用職員がいる中頓別消防支署

## 議案審議の

## 主な質疑及び答弁

## 議案第33号 酪農振興支援条例の制定（一部改正）

Q. 中頓別農業協同組合又は代表理事の文言がなくなっているわけです。組合に入る入らないは本来農業者の自由なわけです。組合に入らなければ何もできないようなやり方は不当だと前から言っていました。そのことが今回整理されたのか、そういう思いでやられたのか、これが私は町の条例としてのあり方としては正しいと思う改正ですけど、ねらいは何でしょうか。

（東海林議員）

A. 町の条例としての公平性を考慮した場合に、農業協同組合に限定する形はやはり正すべきというところで、今回の改正内容としてございます。

（平中産業課長）

## 議案第34号 商工業振興支援条例の制定（一部改正）

Q. 内容は全く問題ありません。ただ、前の条もそうなんですけど、改正の要旨で後継者に対する新しい制度は良いけど、もう一つ大事なものは農業組合長や商工会長を排除したことでしょう。改正の要旨の大事なところで、これを抜かしているようでは改正の要旨とは言えないので、もう少し率直に改正の要旨は分かりやすく書いて

もらったらよろしいかと思います。

（東海林議員）

Q. 今の東海林議員の質問と重なるかもしれませんが、一部で課長からも説明ありましたけど、一部でそういう意見もあつて商工業については会員の条件についても改正することにしたと思います。ただ、現実として宗谷管内で見てもほぼ全ての町村で同様の制度が整備されている。今年も利尻富士町であるとか昨年、利尻町であるとか、どこみても対象は商工会に加盟しているか加盟予定の事業者になっていると思います。そのような状況もあるわけですから、当然、商工会のほうとしては、今回の改正内容については腑に落ちないところがあつたと思います。そういうことが伝えられ急遽、規則の中に審査会を追加して、その中で会員と非会員の差別化を図るような形にされたと思うけど、審査会5名以内で組織するとありますけど、どのような人選を想定されていますか。

（宮崎議員）

A. 補助の対象者につきましては、酪農振興支援条例と同じように、組織や団体に所属している方だけを限定することが町の条例として公平性に欠くものだろうという認識の基で、今回の改正としてご理解いただきたいと思っております。この条例の中では、申請があつた場合に審査することになっていますが、規則の中で審査会を設けるとさせていただいております。その中では、商工会からの代表者の承認を受けた者については、審査会を経ず可能となる規則と

させていただいている。審査会につきましては、今考えているのは、金融機関を代表される方、商工会の代表の方にお声かけていただいて、そういう方に審査会に入っていただきたいと考えています。今回規則の中で審査会を置くということとは、決して商工会からの話で作ったわけではなく、条例改正の時に町内部で話したときに、審査会を作つて外部の方も含めて審査会に入つていただいて議論していかないと私どもだけでは、経営状況の把握をすることは難しいと判断して審査していきたいと当初から考えていたものでご理解をいただきたい。

（平中産業課長）

## 議案第37号 一般会計補正予算

Q. 政策経営室の説明資料の項目について、1、2点伺いたいと思います。必需物品提供事業で、町民や事業所にマスクや消毒液を配布するなどの経費として、これは地方創生臨時交付事業の需用費と役務費に予算が含まれていると思いますが、マスクについては一度5月補正で1人10枚すでに配布されて、今まさに私も使わせていただいておりますが、再度事業所も含めてになるのか、希望する方を募つて個別にお渡しする形になるのか。それと、資料で次亜塩素酸水が添付されていますが、これが配布を想定している消毒液になるのでしょうか。（宮崎議員）

A. 今回、コロナ対策の予算につきまして集約すること、総務費の計上とさせていただきまし





役場入口に設置されている消毒液

て併せて政策経営室の説明資料を集約した形で、お配りさせていただいておりますけど、詳細につきましては保健福祉課からお話させていただきますと思います。

(笹原総務課参事)

A. 必需物品提供事業の中で、消毒薬の関係についてお答えしたいと思います。消毒薬については、購入いたしまして主に公共機関に配置させていただいています。事業所につきましては、みなさんそれぞれ消毒等に努力されているところですが、産業課を通じて希望を確認していたところですが、消毒薬はアルコールを用意しておりますので、アルコール消毒を想定して準備しております。これから第二波、第三波が想定されますので、今そのために保管しているところもあります。

(山田保健福祉課参事)

Q. 手作りマスク買取無料配布事業について、全

員協議会の説明ではマスク3枚に対して500円の商品券1枚で一人最大で30枚までの交換とすると商品券10枚で5千円まで買い取る内容だったと思います。予算1百万円で200人分見ている。手作りマスクの枚数にすると6千枚と物凄く数だと思えますので、手作りマスクに限定しないで市販のマスク含めて対応されてはいいかがか。

(宮崎議員)

A. 前回お話しした時も手作りマスクについては、限定を一応考えておりますけど、運用によって変える。作成する方が、結構な枚数を作っている方もおりますが、どの程度になるか定かではありません。運用に応じて変更かけさせていたしながら、今のご意見も検討の中に入れながら進めていきたいと思います。

(小林総務課長)

Q. 消毒液で今回の補正は少額ですけど、今後のコロナ対策の中で私たち議員も消毒液の配布も考えていて、消毒液等を一般家庭に配ってもらいたいのと、出来れば長寿園、厚生園など幅広く配ってもらいたいと思っているが、今後の課題として何か考えているでしょうか。

(星川議員)

A. 消毒液の具体的なお話については検討させていただきたい。総額2兆円の地方創生臨時交付金が可決される予定で、庁内では追加になる交付金の使途を検討している。想定としては7月の下旬に臨時議会を招集させていただいて、その中で提案させていただきたい。

(小林町長)

## いきいきふるさと常任委員会報告 (3月31日)



いきいきふるさと常任委員会(宮崎泰宗委員長)は、所管事務調査を実施し、第2回定例会に報告しました。

### 3月31日(調査事項)

- 1 総合戦略について
- 2 観光振興計画について
- 3 寄附採納について

### 審査意見

1 総合戦略が始まる前の段階で、議会や議員の意見を発言できたことは良かったので、今後も意見を述べられるような機会を設け、それを活かすよう望むものである。

2 観光振興計画の推進以前に「なかとんべつ観光まちづくりビューロー」など観光組織の立て直しを早急にすること。

3 旧松田商店の建物と跡地の活用について、余程のことが無い限り寄附採納を受けるときに活用しようとした方法を最大限に検討するべきである。また、旧丹波屋に関して、現段階では寄附採納委員会と同様に町として寄附を受けるべきではない。ただし、今後有志団体が保存等を目的として活動がなされたときは、登録有形文化財保護のため町としても支援を望むものである。



# 報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

## 報告第2号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクリエーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の平成31年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が960,023円となりました。

### ●損益計算結果、貸借対照表

|          |             |
|----------|-------------|
| ・収 益 合 計 | 78,758,197円 |
| ・費 用 合 計 | 77,502,795円 |
| ・営 業 利 益 | 1,255,402円  |
| ・当期純利益   | 960,023円    |
| ・資 産 合 計 | 25,008,150円 |
| ・負 債 合 計 | 5,760,002円  |
| ・純資産合計   | 19,248,148円 |



有限会社中頓別振興公社

※ 繰越明許費（くりこしめいきょひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

## 報告第1号 平成31年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

平成31年度から令和2年度に次の事業予算が繰り越されました。

（単位：千円）

| 事 業 名         | 繰越金額   |
|---------------|--------|
| 中頓別町電子自治体推進事業 | 251    |
| 草地整備型公共牧場整備事業 | 15,000 |
| 小学校施設維持管理事業   | 21,263 |
| 中学校施設維持管理事業   | 18,586 |
| 合 計           | 55,100 |

## 議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

『コロナ君よ！君は人類に何を問いかけているのだ』

年明け早々にして、中国武漢から発生した新型コロナウイルスは瞬く間に世界全域に感染が拡大し、今なお終息に至っていない。感染症の専門家もこのウイルスを把握できず、手を焼いている。日本にとっては、やっとな緊急事態宣言が解除され、発生前の状態にはもどれないが、新しい日常が少しずつ戻ってきている。

「3密を避けてください。」今までの中のいい友人や仲間が、集まって大いに盛り上がりつつあった飲み会などが、過去のものになりつつある。

「コロナ君よ。君は人類に何を問いかけているのだ？」

そうか、人類だけの繁栄を享受していることに怒りをぶつけているのだろうか？人類を除く動物には感染の報告はほとんどない。もしかして、森の奥深く静かに暮らしていたコロナ君は人間の急激な開発で自然破壊が進み、突然現代社会に登場せざるを得なくなってしまうの予先を一層人類に向けているのか？自然は時には人類に対して牙を向けてくる。

成熟した国際社会は想定内の事象に対しては十分に対応できる機構が出来上がっている。しかし想定外の災害といつていいコロナ君に対応できていないのは否めないであろう。日本の国も当初十分にコロナ対策に対して迅速に対応できず、対策の遅れが指摘されている。

予期せぬ災害に対応できてこそ真のリーダーシップであり、そこが真のリーダーに問われている。

（綴人・西浦岩雄）

## 議会の動き

### 4月

- 8日 議会広報編集特別委員会  
15日 議会広報編集特別委員会  
27日 宗谷管内議長会定期総会（書面総会）

### 5月

- 13日 自衛隊協力会総会（書面総会）  
19日 全員協議会  
26日 議会運営委員会  
29日 議会運営委員会  
29日 天北地域生活交通確保対策協議会及び稚内音威子府間「命をつなぐ街道」整備促進期成会総会（書面総会）

### 6月

- 9日 全員協議会  
10日～11日 第2回定例会  
16日 北海道町村議会議長会定期総会（書面総会）  
25日 戦没者追悼  
26日 議会広報編集特別委員会  
29日 全員協議会

### 7月

- 7日 議会広報編集特別委員会  
13日 第3回臨時会

## 議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、9月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

## ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**、又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進んでご覧ください。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

※新型コロナウイルスの感染拡大により、傍聴を制限する場合がございますので、予めご了承ください。

発行 中頓別町議会  
編集 議会広報編集特別委員会  
お問合せ 〒098-5595  
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6  
tel (01634) 6-2244（直通）  
fax (01634) 6-1155



役場窓口の新型コロナウイルス対策

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で日々の暮らしに様々な困難や不安を感じてこられたことと思います。

特に高齢者施設や病院内の感染予防、児童・生徒の学校休業期間の対応に関わってこられた方々のご努力に敬意を表したいと思います。

今はまだ、町内では感染者は発生していませんが、これからの季節人々の往来が活発になります。今まで同様の注意と対策で今後も感染者が出ないことを祈りたいものです。

国も特別の予算で対応していますが、実施されたものもありますが、これからのものもあります。

少しでも町民の皆様のお役に立てる使い道を、議会で十分話し合って決めていきたいと思っています。

今回の新型コロナウイルスの経験から改めて気づいたことがあります。

それは第一にいのち、次に生活そして経済だと言うことではないでしょうか。

国政も地方行政もそのことを忘れずに運営しなければならないと思います。

議会広報編集特別委員会（高）